

鬼崎ヨットクラブオーナー(代表者)各位

鬼崎ヨットクラブ 安全委員会

第24回 鬼崎ヨットクラブ安全訓練のご案内

OYC オーナー各位におかれましては、例年のイベントへのご協力有難うございます。

本年度も恒例行事でもあります **OYC 安全訓練を9月12日(日)**に予定していますので
ご参加頂きます様、宜しくお願い致します。

案内と致しまして‘安全訓練計画書’を送付致しますので、各艇メンバーへのご一報、及び
ご周知の程、宜しくお願い致します。

■ 送付資料

安全訓練計画書 A4×3ページ 本紙含め全4ページ)

つきましては、以下の内容をご確認頂き、自艇の訓練項目の準備をお願い致します。

■ 当日の準備

- ＜持ち物＞ 本資料、筆記用具、無線設備が無い艇⇒(430MHz 帯ハンディマチック無線機)
- ＜訓練艇＞ 訓練が実施出来る様、法定備品等の事前確認
- ＜注意事項＞ 参加費は無料 昼食は各艇で用意下さい)

例年、欠席や遅刻する艇が見受けられますが、
艇長会議 クラブハウス、8:30～)には、必ず各艇1名のご出席をお願い致します。

- 出艇不可の艇、当日、アマチュア無線設備を準備出来ない艇
上記艇は、速やかに下名宛へ連絡をお願い致します。

OYC安全委員長 竹村 隆和

電話 :052- 891- 5833 平日 20:00～22:30)

携帯 :090- 8458- 2045

E-Mail t-take@mc.ccnw.ne.jp

必ず、※9月7日(火)までに、ご連絡ください。

■ その他注意事項

安全訓練は、OYC 公式行事です。出艇出来ない場合でも、最低1名は訓練に参加頂きます。

※艇長会議で確認出来なかった艇(会議欠席)は、日直当番のペナルティの対象となります。

平成 22 年 9 月 1 日

第 24 回 鬼崎ヨットクラブ安全訓練計画書

鬼崎ヨットクラブ安全委員会

1. 実施日 平成 22 年 9 月 12 日 (日)
2. 場所 鬼崎フィッシャリーナ東岸壁および鬼崎港沖
3. 内容

■3.1) 午前の部

8:30 会長の挨拶

OYC 各委員からの連絡事項 (クラブハウス)

安全訓練の艇長会議 (クラブハウス)

9:30 陸上訓練準備 鬼崎フィッシャリーナ東岸壁テント敷設)

10:00 陸上訓練開始 鬼崎フィッシャリーナ東岸壁)

11:30 陸上訓練終了

・陸上訓練概要

常滑消防署の指示に従い訓練実施、AEDを用いた心肺蘇生方法等

■3.2) 午後の部

13:00 海上訓練出艇 鬼崎港沖訓練水域)

13:30 海上訓練開始

15:00 海上訓練終了

15:30 後片付け・解散

・海上訓練概要

鬼崎港沖約 1Km 海上、本部艇の西側に円陣上の配置に着く …… 添付図参照

全艇 OYC 旗を揚げ本部艇東側に航路を設け訓練スペースを作る)

参加各艇は、本部艇の指示に従って担当の訓練を行う。

本部艇は、アマチュア無線機を使用して指示を行う。

拡声器での連絡は、海上訓練中の艇、連絡艇から各艇への指示のみとする。

参加艇：鬼崎ヨットクラブ所属全艇

常滑警察署 警備艇‘なごや’

中部空港海上保安航空基地 巡視艇‘はるかぜ’

本部艇：Caress2 1515 竹村安全委員、長谷安全委員)

連絡艇：ミストラルIV 川添安全委員、写真撮影を兼務)

海上訓練プログラム

1. 準備

全艇乗員は、ライフジャケット着用、アマチュア無線機を使用できる状態にする。
周波数 432.90MHz

2. 火災消火 アルバトロス、マイマイ、SATAIII、エスペランサIV、雲)

a) 火災を模擬し、信号紅炎を点火し、消火器もしくはバケツで消火する。

3. 遭難信号 シャチ二世、Zic Zac II、フォルテ、CooCoo Smile、HIBISCUS-III)

NC 旗を使用し、手旗、笛で知らせる。信号紅炎 (使用期限切れ可) を使用する。
発煙浮信号、光せん、パラシュートフレアは、空港に伴う規制区域の為、使用厳禁

4. 落水者救助 波光、美州、グットタイミングIII、PERVERT-II、志摩)

a) 落水者発生、直ちにライフリングを投下、反転して風下より近づいて救助する。

5. 応急操舵 BROWN SUGAR、せいりょうカリス、ISE、零III、ぐらんめーる)

舵のトラブルが発生し、予備ラダー、応急ラダー、ねりがい等により航行する。

6. 乗換え曳航

a) 航行不能となり漂流する艇に、救助艇が近づき曳航する。

b) 航行不能となり漂流し、警備艇「なごや」に乗員を乗換え曳航される

救助艇	航行不能船
a) バリハイ	SEA HORSE
a) はやぶさ	QUERIDA ZERO
b) なごや	南風見

7. 荒天帆走 風の如く、K. Doragor II、ミストラルIV、J.BLOW、Only You-2)

ストームジブ及びリーフしたメインセールとし、乗員は、ライフジャケットに加えライフハーネスを着用。

8. 霧中航行 白砂、ひねもす 6、QUERIDA、LUNA-5 世)

レーダーリフレクタを掲げフォグホーンを鳴らしながら微速前進する。バウで前方の監視を行う。

9. 巡視艇「はるかぜ」による模擬消火放水

連絡は特定小電力無線機を「はるかぜ」より貸与頂き本部艇と連絡
終了予定時刻 15:00

10. 連絡艇

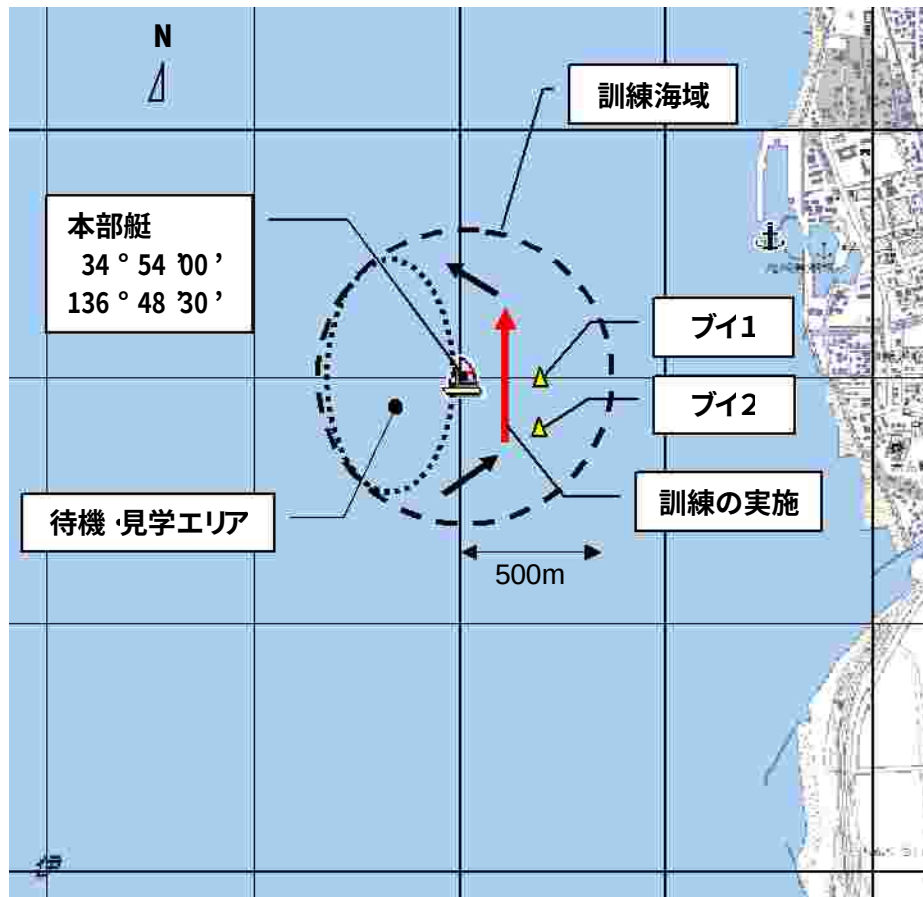
連絡艇はミストラルIVが担当。本部艇の連絡サポート、訓練の写真撮影を担当する。

11. アマチュア無線通信訓練

本部艇から訓練艇各艇へ随時、無線で呼び出しを行う。各艇の応答状況をチェックし、
交信することによってアマチュア無線の使用訓練とする。

以 上

海上訓練エリア



参考

国際信号旗の意味



NC旗 :私は遭難している。直ちに援助がほしい。



O旗 :人が海中に落ちた。



A旗 :潜水夫を降ろしている、微速で十分避けよ。



UV旗 :ご安航を祈る。

運転不自由船及び操縦性能制限船の措置

紅色全周燈二個を垂直線上 又は、黒球二個を垂直線上